

進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東月寒中学校
第3学年 進路係
第26号
2024年11月11日発行

推薦選抜について

第4回進路希望調査では、推薦受験を考えている生徒もいました。

■推薦受験とは

優れた人物やリーダーシップが期待できる生徒を、学校もしくは自分自身で推薦して受験する制度です。一般受験と違い、面接のみの受験であったり、一般受験より早く受験・合格内定が行われたりするなどの違いがあります。学校長推薦と自己推薦とがありますが、北海道の公立高校はすべて自己推薦になります。私立高校も自己推薦を行う学校が多いですが、一部学校長推薦が求められる学校もあります。

■学校長推薦受験の手続き

学校長推薦受験を希望する場合、以下の流れですすめます。

- ① まずは担任との相談を行います。教育相談期間でもなくても、担任の先生に時間を作ってもらってください。
- ② 担任の先生のアドバイスや家族との相談をふまえて、推薦で受験することを担任の先生に申し出ます。[11月11日(月)~11月14日(木)]
- ③ 11月14日(木)に高木から学校長推薦受験をする生徒に一斉連絡します。個別ではありません。
- ④ 「推薦依頼書」を受け取り、作成します。下書きを書いて担任の先生に提出します。点検を受けた後、清書します。清書の締め切りは11月20日(水)です。
- ⑤ 先生方の判定会議(推薦委員会)が複数回開かれて、検討が行われます。最終的に、12月2日(月)の会議で推薦候補者が決定します。
- ⑥ 校長先生との面接を行い、推薦生徒が決定します。(期末懇談の頃に面接が行われます)

■自己推薦について

☆出願条件

推薦枠を設けていない学校もありますので、すべての受験生が自己推薦で受験できるわけではありません。また、推薦入試を行う学校は、「入学者の受入れに関する方針」を示しています。その方針に合うか合わないかを受験生本人が判断して受験するかどうかを決めます。方針に合わないと思う場合、自己推薦の資格は満たせないといえます。

☆必要な手続きや書類

学校推薦と違い、中学校の推薦委員会の判定は不要ですので、前記の推薦受験の手続きは必要ありません。11月に配付した第5回進路希望調査において自己推薦で出願することを明記してください。

自己推薦の出願には願書の他に「自己推薦書」が必要になります。自己推薦で出願することを決意したら、この自己推薦書の作成を始めます。担任の先生から下書き用紙を受け取り、自分の力で書き上げてください。完成したら担任の先生に見てもらいます。担任の先生は誤字や間違った表現がないか点検します。点検済みの下書きが戻ってきたら清書します。清書した自己推薦書は願書と一緒に提出してください。手書き、ワープロどちらでもかまいません。

また以下のような制限があることも記載しておきます。

- ・出願変更は認められない。
- ・面接試験を欠席したり、合格内定後に入学確約書を出さなかったりすると、再出願や第2次募集への出願ができない。

高校説明会、オープンキャンパス等のお知らせ

高校説明会やオープンキャンパスの案内が引き続き届いています。学校への通知の関係で進路だよりでの掲載が間に合わない、発行日の関係でお知らせできないものもあります。掲示物、ポスター、配布済みチラシ等の記載にも注意してください。記載がないもので、見学や体験等を希望する生徒は、担任の先生に相談してみてください。参加希望生徒は学級の申込用紙に記入し、担任の先生に提出した上で、締め切り日までにWEB等で申込をおこなってください。ほとんどが個人での申込です。

■ 小樽双葉高等学校 個別相談会

11月16日(土) 11月30日(土) 9:00~14:00まで、30分刻み

※申込 HPより

■ 小樽明峰高等学校 オープンキャンパス・学校説明会

11月23日(土) 12月7日(土) 21日(土) 1月11日(土)

午前の部8:30~ 午後の部12:30~

※申込 HPより

令和7年度札幌市立高等学校WEB出願シミュレーションができます

裏面に札幌市教育委員会から発行されました、「令和7年度札幌市立高等学校WEB出願シミュレーション実施の御案内」を添付しました。私立高等学校単願受験を希望している生徒や市立高等学校受験を予定していない生徒も願書作りの練習として取り組んでみてください。期間は本日11月11日(月)から11月25日(月)までです